デザイン工学研究科　博士後期課程

＜教育課程におけるアセスメント・ポリシー＞

「学生の学修成果の評価（アセスメント）」について、学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）、教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に照らして、下記のとおり検証を行う。具体的な検証項目については、別途定めるアセスメントシートを用いて実施する。

１．目的

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に示された学生の学修成果を把握・評価することで、教育の改善・向上に結びつける。

２．測定項目

（１）入学段階において、学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）で求める能力・意欲が身についているか、アセスメントシートを用いて測定を行う。

（２）教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）に基づく取り組みと成果を通じて主体的、自主的、能動的な学修態度や、大学院課程で求める思考力、判断力、表現力、世界で生き抜く能力、国際的通用性が養われ、求める専門知識・能力が身についているか、アセスメントシートを用いて測定を行う。

（３）ディプロマ・ポリシー（大学の学位授与方針）で求める必要な能力が身についているか、アセスメントシートを用いて測定を行う。

３．実施体制

アセスメントの実施主体は、デザイン工学研究科質保証委員会とする。

４．実施および公表

（１）アセスメントは、別に定めるアセスメントシートにより実施する。

（２）検証結果を踏まえた教育の改善・向上の内容は、積極的に自己点検・評価書類にて公表する。